

## 企業・NPO 協働奨励事業説明書

団体名	森と地域・ゼロエミッションサポート 倶楽部	代表者名	会長 金澤 洋一
事業名	森林整備技術の普及と林地残材有効活用に関する協働事業		
協働の相手方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本土地山林株式会社 東京都品川区東五反田3-20-14</li> <li>・日本土地山林株式会社 兵庫支店 兵庫県朝来市新井777</li> </ul>		

### 事業概要

NPOが主宰して行ってきた「森林林業技術研究会」に関連したものが森林整備技術の普及であり、ここには高知県の「土佐の森・救援隊」を参考にした、森林ボランティアの発展形を目指すNPOの思いにも繋がっている。

したがって、知識だけでなく、林業現場での実践体験の習得を、協働事業を通じてアプローチしている。

林地残材有効活用は、未利用低質資源を何とか有価物として活用したいとの思いが両者の前提にあり、情報交換、現地調査と試行などで、一緒になって「最適解」を捜そうと言うものである。これも、上流域への「還流ビジネス」が伴っていなければならないとするNPOの思いが根底にある。

協働で得られた事業効果でも述べるように、「偏利関係」ではなく「相利関係」であり、日本土地山林株式会社にも以上の協働事業を通じて得られるものは大きいとの期待がある。

### 効果と成果

協働事業への切っ掛けとなった「地域循環の炭づくり事業」の支援協力の話が出た平成18年12月の頃より、日本土地山林株式会社は、FSC森林認証取得の準備に着手していたが、FSC森林認証は、単に森林施業だけでなく、社会貢献（環境配慮や地域活性化など）が認証取得の大きな条件になっている。

従って、NPOと協働事業を行うことは、自社にとって大きなメリット（活動証拠）となるのである。

その後も、ホームページに見られる環境方針や今年度から全社的に取り組み始めた環境CSR活動の一環として、協働事業が評価価値を持つと認識している。

NPOにとっては、日本土地山林のフィールドと機械・機器・建物及び実践的な森林林業技術は大きな魅力であり、日本土地山林と協働事業を行うことは、NPOにとって大きなメリットがある。